

ほほえみ 第63号



暖冬で雪も少なめですが、ほほえみ読者の皆様はいかががお過ごしでしょうか。新年を祝っていたのも、つい先ごろのように思いますが、もう節分なのですね。我が家では節分は重要な行事で、毎年、鬼は外、福は内とやっています。年齢は秘密になっているので、食べる豆の数は、分割してわからないように食べるという形です。子供の頃は炒った大豆と相場が決まっていたのですが、今はスーパーでも落花生がほとんどです。きっと、落花生をまくものだという風に変化が常識が変わっていくのですね。

2016年のインフルエンザ事情

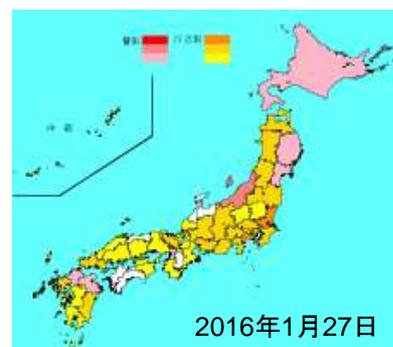
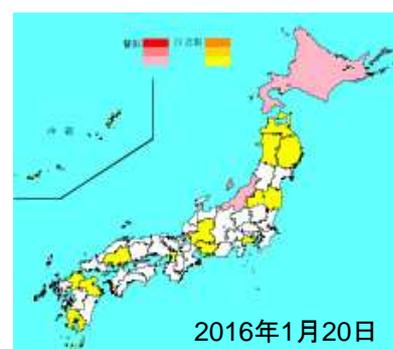
毎年2月はインフルエンザの流行期で、今シーズンに関しては12月から1月の流行は比較的落ち着いたのですが、1月後半に入って全国的に流行期に入っています。その中で、岩手県は感染者が増えているので注意が必要ですね。

最近ではインフルエンザというと、迅速診断キットというものがあって、テストして陽性とか陰性とかいうのですが、これはインフルエンザウイルスの存在を、抗体を使って証明しています。科学的に見えますが、陽性率はウイルス量と関連があり、感染の初期ではウイルス量が少ないので、陽性率が低くなります。発熱から24時間以内だと、本当は感染している方でも陽性と出ない確率(偽陰性率)が25%程度あります。熱が出て一日経ったあたりが陽性率としては高く、82%になります。さらに時間が経つと陽性率が上がるかというそうではなくて60%ぐらいになります。

子供より大人の方が陽性になりにくいという事も言われており、検査が万能というわけではないようです。臨床症状やインフルエンザ以外の可能性を加味し、若い健康な方、年配で予備力の少ない方といったことも考慮しながら、抗インフルエンザ薬の使用を検討します。インフルエンザ薬は特効薬のように思われがちです。実際には、統計的に見ると発熱の期間を短縮するようですが、自分がかかった際に内服してみた経験からは、ぱっとよくなる感じではないです。

医師はインフルエンザに晒される職業なのか、あまり休んでいる人はいないのですが、とりわけ小児科の先生は、各種感染症の診断治療をされているだけあって、あまり、インフルエンザ、風邪などでお休みされないように思います。流石だなと、妙に感心しています。

学生時代から、子供はどちらかという苦手なので、小児科医にはなれないなと思っていましたが、この季節は特に、小児科の先生の大忙しの季節で、お声を掛けるのも憚られますね。



はじめまして、島津です

はじめまして。この度、がん化学療法科に赴任しました島津和弘です。生まれは千葉県船橋市。最近有名な梨の妖精ふなっしーさんの生まれ故郷です。なお言うほど梨畑はありません。

突然ですが合コンしたくない国立大学No.1の大学をご存知でしょうか？東京工業大学という大学で、私の出身大学です。当時『癌の転移抑制』について研究しており、腫瘍内科医を目指す原点となりました。紆余曲折を経て今はこうして医療に携わる身となりましたが、日々の診療を通し学ぶことばかりです。まだまだ稚拙なところは御座いますがよろしく願い致します。

冬の間の単身赴任で恐縮ですが、宜しくお願いします。船橋方面から、「島津先生は、どことなく僕に似てるなっしー。これからも、よろしくなっしー。」という声も聞こえてきたとか(加藤)。



Wikipedia より引用

もりおかまちなかカフェのご紹介

盛岡に3か所目のメディカル・カフェが誕生しました。盛岡市上田4丁目の「もりおかまちなかカフェ」さんです。閑静な住宅街の一角の、個人宅でのメディカル・カフェです。12月のオープニングで、門かぶりの松のある、趣きある日本庭園を備えた素晴らしいカフェに伺ってきました。

インフルエンザの流行期は、病院でのカフェはお休みですが、まちなかカフェさんは通年、毎月第4金曜日14時から16時に開催されるということです。是非、皆様お誘いあわせの上、おしゃべりを楽しんだり、お茶を楽しんだりなさってください。

場所：盛岡市上田4丁目19-13 佐藤様方
開催：毎月第4金曜日 14時から16時
問い合わせ：080-5580-5744 熊谷様



MEMO

2月のがん化学療法科の予定

2月3日 節分の日 今年の恵方は「南南東」です。
2月11日 建国記念日
2月日 柴田教授外来
2月14日 バレンタインデー
2月日 柴田教授外来

新渡戸稲造記念 メディカル・カフェはインフルエンザ流行期のためお休みとなります。

